



いわて生協 復興支援活動ニュース

2017年10月号

2017年9月28日発行

いわて生協 組合員活動チーム

電話：019-603-8299

FAX：019-687-1117

☆☆ バスボランティア ☆☆

9月16日(土)バスボランティアで大槌町へ。秋まつりが行われている中、菜の花プロジェクトで河川敷の花壇整備をしました。いわて生協に加え、関西3生協(おおさかパルコープ、よどがわ市民生協、ならこープ)、職員研修で訪れているおかやまこープ、こープネット労組と、全国からの60人で活動。ありがとうございました。



☆☆ 健康フェスタ ☆☆

8月25日(金)大槌県営屋敷前アパート公営住宅で、医療生協さいたま・盛岡医療生協と一緒に、健康フェスタを開催。健康チェックや認知症予防体操、余興やゲームなど楽しい一日を過ごしました。



「小さな力を集めて」

盛岡北こープ 理事 小山田 緑

もうすぐ東日本大震災から6年半。内陸で暮らしていると、震災の事を忘れてしまう事も。だからこそ生協で活動している立場として「忘れないで！まだまだ様々な支援が必要なんだよ」と訴える必要性を感じます。

盛岡北こープでは震災以降毎年、被災地へのバスツアーと「被災地の現状を聞く会」を続けてきました。初めの1~2年はバスツアーの申し込みが殺到し、お断りするほどでしたが、残念ながら年々参加者が減っています。そんな中「毎年参加しています」というご夫婦もいて、やって良かったと励みになります。昨年は二度目の宮古市田老漁協の見学でしたが、新しくなったわかめ工場や防潮堤などを見学して、復興の様子を知ることができました。見学後、漁協内に特設販売コーナーを設けてもらいました。みなさん、わかめや海産物をどっさり買い込んで、「こんなに買っても、あちこちに配って、うちには一つも残らないのよ」と満面の笑顔で話してくれ、これも支援活動だなと思っています。

「現状を聞く会」は、懇談会や秋のつどいで工夫して少しでも多くの方に聞いてもらいたいと続けてきました。昨年は秋のつどいの学習会の中で、委員さん30名程を対象に行いました。中々進まない復興の様子を聞く事が出来、つどいで話す際の参考にもなりました。「知ること」も支援の一つの形だと思います。

また、秋のつどいやこープ総代会など様々な会場で被災地の方々の手作り作品を販売してきました。初めの3年程は主に手作りストラップを、一昨年にはネクタイプロジェクト作品を販売しています。友達に配るから」「姪っこにプレゼントするから」と言って、一人で何個も買ってくれる方もいます。販売を通して、被災地の様子を伝えたり、他県の生協からの支援を伝えたりする良い機会になっています。

バスボランティアなどは、中々ハードルが高くて、踏み切れない所もありますが、小さなことでもいいから継続し支援していく事、「忘れないよ」と行動し続ける事が大切だと思っています。多くの組合員がそんな活動に参加して、無理なく少しずつ支援活動が出来るように支えて行く事が、こープとしての大事な役割ではないかと思っています。



ふれあいサロン



今月のサロンの様子と ボランティアの声

<陸前高田市 二日市仮設住宅>



布ふうりんを作成！かわいくできました！

<宮古市 実田仮設住宅>



ハギレとフェルトを使った小さな小物入れを作りました♪

お茶会では、先日の町長さん訪問の時の話や、大槌町のお祭りの話で盛り上がり、釜石と大槌のお祭りの違いやお祭りに対しての心意気など地域の繋がりで大槌町のお祭りを支えているのだと感じました。

(大槌町 小槌第14仮設住宅)

仮設住宅の周りは住宅建設中が多くなり、山田線のお隣の仮設は今年中までで次の仮設へ移る事も決まっているようです。サロンへの参加者も入れ替わりが見られます。集会室のパネルには今月の行事が3件。その中のひとつが生協のサロンです。最後まで頑張ろうと思います。

(大槌町 安渡第2仮設住宅)

一瞬シーンとした静寂があり「シーンとしてるネェ」と冗談と笑いで針を運び仕上がり「ワァ〜すてきだ」と好評して記念写真。おしゃべりは、今の生活これからの事、それぞれの胸の内を話し合っていました。集まれる場があることへの感謝の言葉をいただきました。

(陸前高田市 佐野仮設住宅)

「一人暮らしになって焼きそばとか作らなくなったから久しぶりに美味しかった」と♪喜ばれました。

食の支援

9月は、ふれあいサロンは、4会場で作って食べる場が持たれました
(住民さんは28人、ボランティアは10名参加)



3行レシピ⑭を発行しました

今回の3行レシピは盛岡4コープの組合員からよせていただいた「簡単にできるあったかメニュー」が中心です。沿岸の組合員のつどいで配布します。



3行レシピ⑭のホチキス留めボランティアを9月21日、22日の2日間行い、延べ8人が参加。300冊を作成しました。ありがとうございました。



キット作り

キットを作っていたいただいたら、早目の返却をお願いします
(使うサロンの日程が迫っている場合もあるため、出来たところまででも大丈夫です) よろしく願いいたします。

ありがとう
ございます

●○● キットの在庫情報 ●○●

- ・ おじょうさん
- ・ ティッシュボックスカバー
- ・ ハギレとフェルトの小さい小物入れ (大・小)
- ・ メガネケース
- ・ 葉っぱのコースター
- ・ 牛乳パックのカゴ
- ・ お薬手帳
- ・ ランチョンマット
- ・ 鍋しき
- ・ あめちゃん袋
- ・ など

※詳しくは事務局までお問い合わせください

※新しいレシピ、引き続き大募集です。

●○● キット作りありがとう ●○●

- ・ 鍋敷き
(花巻ちょボラくらぶ花巻、花巻アウルこ〜ぷ委員会、宮古DORAキット作り)
- ・ 手提げバック (花巻北松園東こ〜ぷ委員会)
- ・ 牛乳パックの小物入れ (水沢ぺこぼら)
- ・ ペンケース
(宮古DORAキット作り、花巻ちょボラくらぶ花巻)
- ・ フェルトで作る小物入れ[小・大] (いのへこーぷ)
- ・ お薬手帳 (いのへこーぷ)
- ・ めがねケース (釜石キット作り)

キットを使った作品

こんなにかわいい作品が作れます！



ちょボラくらぶ花巻！の活動風景
ペンケースのキットを作っています！

※キットは、生協サロンだけではなく、他団体や社会協議会にもお渡ししています。

大船渡永沢公民館のお茶っこ会は、災害公営住宅の方や自力再建された方、元からの住民さんが参加されています。仮設にいた時に生協のサロンのキットが使いやすく、簡単にできて良かったという話が出て、ここでも使えないかと支援担当に相談がありました。

今は、材料費と募金で1つ100円で購入して作っています。

年齢のせいで「もう手芸はできない」と諦めていた80代半ばの方は、周りから「針と糸を貸すよ！」と声をかけられ、作ってみて、「まだ自分にもできる」と自信を取り戻し、今は毎回いろいろな物を作って楽しんでいらっしやいます。



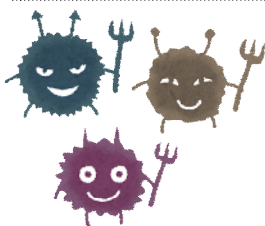
支援を
ありがとう

お菓子・ジュース・色紙のご支援

- ・「コープいしかわ」さん
- ・「ユーコープしずおか」さん
- ・「コープみらい」さん
- ・「京都生活協同組合」さん
- ・「コープえひめ」さん
- ・「生協しまね」さん

現地でのご支援

- ・8/25(金) 大槌
- 「医療生協さいたま」さんの健康フェスタ



9月は食中毒が多い時期です。

食の支援やサロンでは、食材の管理や手洗いなどで食中毒に気を付けましょう！
また、サロン活動中や食の支援中に体調不良の方がいましたら、支援員さんや社協の方と一緒に対応しましょう。サロン事務局 (019-603-8299) にもすぐに連絡をお願いします。